

川崎市の訓練実施結果概要

都 県 市 名 川 崎 市

訓練の 目的	市民、行政及び防災関係機関が、自助・共助・公助の理念に立った実践的訓練を実施して連携を強化し、災害対応能力の向上を図るとともに、九都県市合同防災訓練会場への救援物資搬送を相互に実施して、九都県市間相互の連携を図る。
日 時	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成24年9月1日（土）15:00～20:00（中央サブ会場） 2 平成24年9月2日（日）9:00～12:00（中央メイン会場） 3 平成24年9月6日（木）13:00～15:00（遺体安置所開設訓練）
会 場	<ol style="list-style-type: none"> 1 川崎市立はるひ野小・中学校（中央サブ会場） 2 あさおふれあいの広場（中央メイン会場） 3 川崎市麻生スポーツセンター（遺体安置所開設訓練）
規 模	参加機関（団体）63 機関、 参加人員 1,490 名
想定地震	川崎市直下を震源とするマグニチュード 7.3 の地震が発生し、麻生区をはじめとする市内全域で、家屋の倒壊や火災により多数の死傷者が出ており、電気をはじめとするライフラインも各所で寸断している。
訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域活動型訓練 災害時参集、避難所開設、要援護者安否確認・搬送、緊急物資受入れ 2 参加・体験型訓練 応急救護、初期消火、要援護者搬送、煙体験 3 防災関係機関訓練 ボランティア受付、情報伝達、緊急交通路確保、道路啓開、ライフライン応急復旧、救出救助、救護活動、給食、一斉放水、防災フェア（展示・体験） 4 遺体安置所開設訓練
訓練の 特 徴	<p>東日本大震災を受け、多くの防災対策から得られた課題にどのように対応するかを念頭に、住民が自ら行うより実践的な訓練とするため、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 夜間の停電を想定した避難所開設訓練 2 麻生区の地域性を踏まえた、土砂災害を想定した救出救助訓練 3 緊急速報メール・エリアワンセグ等情報伝達ツールの実効性の確認 4 災害時要援護者介護、災害時伝言ダイヤル体験、動物救護活動等東日本大震災の反省に立った訓練 <p>を実施した。</p>

<p>参加機関</p>	<p>【国・県の機関】 陸上自衛隊第31普通科連隊、防衛省自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所、神奈川県警察本部、神奈川県警察第二機動隊、麻生警察署</p> <p>【協定機関】 (社)川崎建設業協会、神奈川建設重機協同組合、(社)川崎市医師会、(社)川崎市歯科医師会、(社)川崎市病院協会、(社)川崎市看護協会、(社)川崎市獣医師会、神奈川県柔道整復師会川崎支部連合会、(社)神奈川県エルピーガス協会川崎北支部、かわさき市民放送(株)、川崎市社会福祉協議会、麻生区社会福祉協議会、かわさき市民活動センター、川崎市アマチュア無線情報ネットワーク、赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川県支部、(社)神奈川県タクシー協会川崎支部、川崎葬祭具協同組合、セレモニアグループ(有)佐野商店、シンコースポーツ(株)</p> <p>【指定地方公共機関】 (社)神奈川県トラック協会、(社)神奈川県トラック協会川崎支部</p> <p>【指定公共機関】 日本赤十字社神奈川県支部、東京電力(株)川崎支社、(株)NTT東日本-神奈川、東京ガス(株)川崎支店、東京ガス(株)神奈川導管ネットワークセンター</p> <p>【住民組織】 麻生区自主防災組織連絡協議会、はるひ野小・中学校避難所運営会議、麻生消防団、麻生地区婦人消防隊委員会、麻生消防ボランティア委員会、麻生地区少年消防クラブ、王禅寺家庭婦人消防隊、栗木町内会自衛消防隊</p> <p>【ボランティア団体等】 川崎防災ボランティアネットワーク、NPO法人救助犬訓練士協会、NPO法人川崎介護福祉士会、赤十字奉仕団川崎市地区本部委員会、麻生区赤十字奉仕団、麻生区聴覚障害者協会</p> <p>【事業者等】 三田調温工業(株)、ヤナギ建工(株)、富士通(株)、(株)オスモ、(株)ライトボーイ、(有)システムックス</p> <p>【学校】 川崎市立はるひ野小・中学校、専修大学、田園調布学園大学、神奈川歯科大学</p> <p>【九都県市広域応援協定自治体】 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市</p>
-------------	---